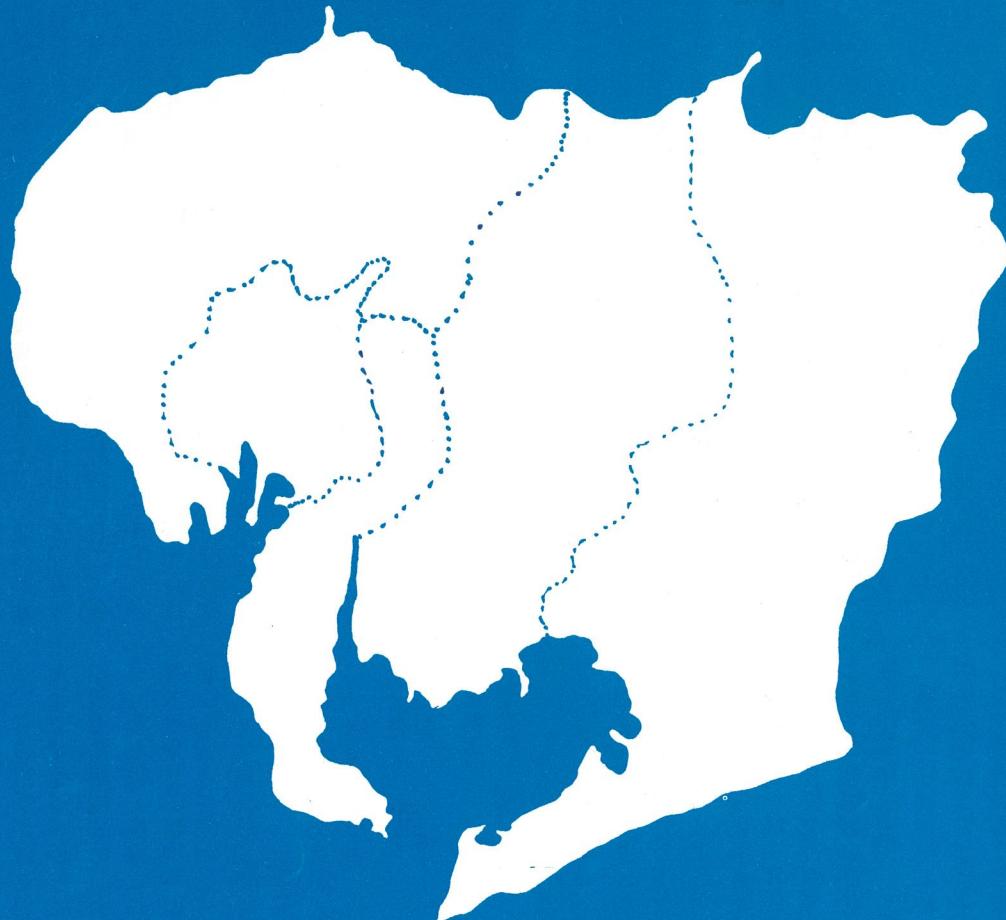


観の眼



—— 目 次 ——

巻頭言	1
50周年記念式典	2
安藤選手 選手権	6
隨想	7
地区だより	8
大会だより	9
記念誌発刊	9
顕彰	10

おめでとう	10
連盟所在地	11
役員名簿	12
事業計画	13、14
事務局だより	16
記念誌の訂正	17
訃報	17
編集後記	18

第27号



財団
法人

愛知県剣道連盟

三重県剣道連盟

岐阜県剣道連盟

静岡県剣道連盟

(2) その他

参加者名簿作成確認

二、関係施設との事前打ち合わせ

期日 平成十四年九月二十三日

場所 サン笠寺

(一) 設営関係

- ① 物故者慰靈塔の設置
- ② 式典用長机、椅子、放送設備の借用
- ③ 照明、舞台設営
- ④ 予算おおよび出店の設営時間
- ⑤ お祝い用花・一基
- ⑥ 式典準備費用
- ⑦ 会場案内用看板の設置
- ⑧ タクシードの手配



三、タイムスケジュールについて

(一) 日 時

平成十五年一月二十六日(日)

午後一時～十九時

(二) 場 所

サン笠寺大ホール

(三) 日 程

① 受付(一時間)

十三時～十四時

式典(一時間)

十四時～十五時

演武(一・五時間)

十五時～十六時三十分

パーティ(二時間)

十七時～十九時

その他

(四) 表彰

- ・来賓・招待者・五地区代表の受付
- ・出席者用名札
- ・記念品収納用袋
- ・名札ケース
- ・案内係の選出
- ・来賓・役員の座席位置
- ・なぎなた演武者の更衣場所

四、記念式典当日の様子
事前の準備も順調に進み、いよいよ式典の当日を迎えた。当日出席者に配られたプログラムの中から抜

表彰

本連盟の発展に、いろいろな方面から功労のあつた団体や個人に贈呈された。

感謝状①：部外で特に本連盟の発展に大きく協力いたいた団体

特別功労賞：本連盟の運営にくく著しい功績のあつた方

近藤利雄(相談役)

加藤文雄(元理事長)

中村薰(前理事長)

井明株式会社

会会会團市市村社社社社社会所

粹し、以下に列記した。まずは式典関係からである。

体育スポーツ課
伊神 勝彦様

開会の辞

県知事代理
全劍連副会長
加賀谷誠一様

来賓祝辞
主催者式辞
会長 谷鎧吉郎

来賓の方々

出席者全員による黙祷をささげ、続いて、献花を行なつた。

物故者法要の紹介が行われた。別表参照

出席者全員による黙祷をささげ、続いて、献花を行なつた。

終始しめやかな雰囲気で行われた。

ご列席いただいた、来賓の方々の紹介が行われた。

物故者法要の紹介が行われた。

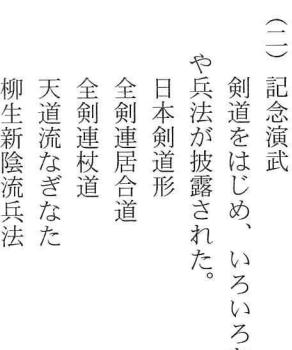
出席者全員による黙祷をささげ、続いて、献花を行なつた。

物故者法要の紹介が行われた。

感謝状・関係諸団体



谷会長からの表彰授与(近藤範士)



日本剣道形

日本剣道形

記念演武	
日本剣道形	打太刀 範士八段
	仕太刀 教士八段
全剣連居合道	教士八段
全剣連杖道	打 教士七段
	仕 教士七段
天道流なぎなた	受太刀 教士
	仕太刀 錬士
柳生新陰流兵法	第二十一世宗家

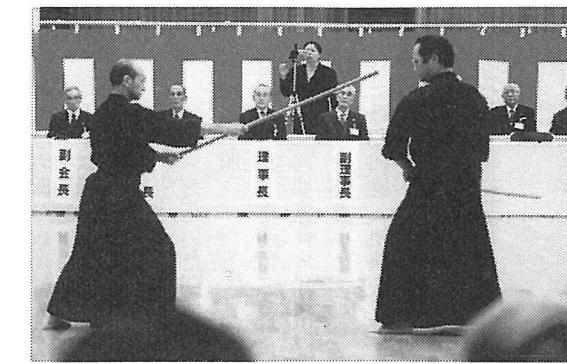
日本剣道形

日本剣道形

(四) 記念パーティ
記念式典が行なわれたサン笠寺にふたたび会場がもどり、改めてパーティ用に設定された会場で、多くの出席者を得、盛大にパーティが催された。



全 剣 連 居 合 道



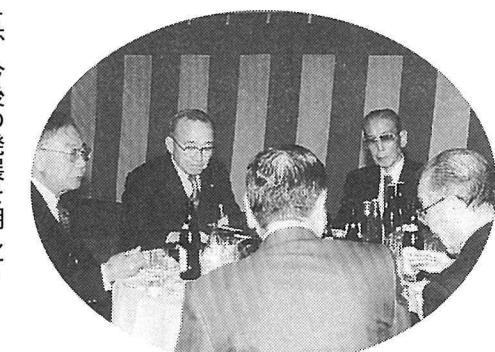
全 剑 連 杖 道



天 道 流 な ぎ な た



柳 生 新 陰 流 兵 法



記念 パーティ

五、今後の発展を期して

五十年と一言で表現しても、戦後復興から、日本経済が著しい発展を遂げてきたが、昨今の不景気により将来への不透明感が強い。人の心が見失われ、世の中が廃れていく危機感も囁かれている。本来日本人が持つ合わせる美しい知恵とたくましい実践力は、まさしく剣道の教え中に息づいている。剣道一人一人においても、日々研鑽と修業を重ねるとともに、連盟を柱として、剣道を実践する者たちの努力と英知を結集し、より良い発展を遂げられるよう、衷心より祈り、報告したい。

(報告者)

白 石 裕 章

第五十回全日本剣道選手権大会 愛知県代表 安藤戒牛選手 優勝

平成十四年十一月二・三日、日本

武道館で開催された第五十回全日本剣道選手権大会において、本県代表の安藤戒牛選手（愛知県警）が、見事優勝を果たした。

安藤選手は、平成九年の四十五回大会、翌年の四十六回大会、そして今回と三回目の全日本出場での快挙、本県では、榎原正選手（第一回大会）、鈴木守治選手（第六回大会）、東一良選手（第三十一回大会）に続いて四人目の全日本優勝者に輝いた。

試合経過

一回戦	メ	—	井口（埼玉）
二回戦	ツコ	—	高野（茨城）
三四戦	メ	—	炭屋（北海道）
四回戦	コ	—	本多（福岡）
準決勝	メ	—	小関（東京）
決勝	メ	—	岩佐（東京）

決勝は、前年度の第四十九回大会優勝者、東京代表岩佐英範六段（警視庁）との対戦となつたが、延長戦となり、得意の「面」で勝利した。

安藤選手について

安藤選手は昭和四十八年六月十二日岐阜県瑞浪市生まれ。二十九歳での全日本優勝である。

瑞浪小学校一年の時から瑞浪スポーツ少年団で剣道を始める。中学・高校はP.L学園、大学は国士館大学と剣道を続け、大学二年・三年と連続して全日本学生選手権に優勝している。

平成八年に愛知県警に採用され、機動隊勤務、剣道特別訓練生として活躍していることは周知のとおりである。現在、剣道五段。

安藤選手へのインタビュー

（平成十五年八月十九日）

すでに第五十回全日本剣道選手権大会から十カ月余を経ているが、愛知県剣道連盟事務所に安藤選手をお招きして、大会のこと、ご自身の剣道への取り組み、稽古法などについてお聞きした。

全日本の決勝戦、その時の状

況はどうでしたか――

かなりリラックスして臨めたことを記憶しています。試合のことよりも、会場への入退場の仕方や、周囲の進行が気になっていました。

試合の際に、意識していたことはありますか――

技術的にはとくにありませんが、入場の時に必ず武道館の国旗を見て礼をし、心を落ち着かせるようにしていました。

通常の試合では――

いつも試合では、本部席のある方に必ず一札をして入場するようにしています。

全日本の試合で印象に残っている試合、技については――

記憶に残る技です。本多選手がコテを打って出て、入らずに自身の頭上を防ぐ形になつて、そこからさらに入門に打つて来るところを、コテをおさえました。

決勝戦の技については――

岩佐選手が下を攻めてツキを出でるところを、メンに乗つて一本勝ちました。私の場合、相手の技の尽

きるところを打つたり、相手の技の出ばなを捉えて一本を取る形が多いと思います。一回戦の井口選手とは延長戦でしたが、井口選手のツキを余して、引きメンで一本勝ちでした。

稽古についてお聞きしたいのですが――

特別訓練性としての稽古は、一日に二回で、一回の稽古は二時間ぐらいです。基本・打ち込み・かかり稽古が四十分、地稽古が四十分、その後のウォーミングアップとクーリングダウンが合わせて三十分ぐらいです。

稽古で心掛けていることは――

稽古の課題にすることは日々変わるので、試合が近づいてくると地稽古では、「打たれない」ことに主眼をおいています。打たれた所は毎回チェックして、修正していきます。それで、自信を蓄えていきます。自分自身の経験からですが、打たれる所は、だいたい同じ機会であつたり、同じパターンの所であつたりします。そこをきちんと修正していくことが、稽古で重要なことだと思います。

平素、基本的に心掛けて稽古していることはといえば、中心をとつて、体を崩さないようにして、相手に上

から乗るように打つことです。

今は、メンとツキです。ツキは裏からのもろ手のツキです。大学時代は、逆胴をよく打ちましたが、なかなか決まらなくなりました。

世界大会にも出場されました
印象的なことは――

世界大会は個人戦に出場し、バス
ト8でしたが、それなりに試合は出
来ました。

うかる思へりまて

ク、駆け引きが大変に

ことです。ただ、攻められた時に我慢して、そこから打ち返すような技

はまだ出来ていないように感じました。

日本文化や「道」への関心が高く、
教養的なことについてもしっかりと踏
まえた上で、剣道に入ってくるとい
う感じでした。

これからについては――

道は遠いわけです。ただ、試合に
ついては、するからには勝ちたいと
いう気持ちは強くあります。

それ以上に、子ども達への剣道の指
導や、剣道を愛憎される方々との

地区より

「第一回 剣道祭」を開催

平成十四年度の西三河剣道連盟新規事業として、第一回剣道祭（豊田市剣道連盟主管）を、平成十五年一月十二日（日）に、豊田市体育館において、盛大に開催することができました。会員ならびに関係者の方々に深く感謝いたします。

開催に至った経緯

論点は主に「きのとおりでした」と

・指導者の一層の育成

・少年剣道の強化

- ・会員相互の親睦を深める
- ・大会・交流会の刷新

③ ② ①
高齢者稽古会の定期開催会
中学生強化訓練講習会
日本剣道形大会

合
計

一三二

過でした

林 邦夫先生

渡並 直先生

大会終了後の懇親会には、約百名の多くの方々に参加いただきました。七十歳になられた方、七段昇段者への記念品の贈呈が行われ、乾杯のあと懇談にうつりました。「演武の反省」「剣道仲間との雑談」等が、賑やかに延々と続きました。本日の日本剣道形、剣道演武についての良い点、反省すべき点、あるいは剣道、居合等の技術面、心の作用、さらには、今後の剣連のありかた等々、リラックスした雰囲気の中で、各人の思いをぶつけ合っていた光景が多く見られ、大変に有意義なうちに、本大会を無事に終了しました。

交流をとおして、剣道を楽しみたいという気持ちがあります。剣道をして、色々な人たちとの出会いのなかで、幅広く自分を磨いて行きたいと考えています。

隨想

田中弘

平成十五年四月から愛知県剣道連盟の役員及び審判、審査員の年令等に定年制が導入され、新規程により有能な若手を中心の体制となり勝股理事長の許、事業は着々と進行している。

団体加盟の廃止、伝統ある明治村大会も全日本選抜剣道八段優勝大会と変更され、新しい風が吹きはじめている。

ところが、社会情勢が不況、不透明で厳しい時代の背景とでも云うのか、企業（実業団）では、剣道に打ち込む時間も減り、剣道爱好者の立場、位置付が不明確となり、むづかしい時代となってきた。又行政から委託される大会も運営面で苦渋の方向になりつつある。そして剣道人口も少子化、高齢社会になり各方面に影響が出はじめている。

二十一世紀を合理的に能率の挙がる運営が必須要件となってきた。

(一) 台風時の事業の取扱いについて
(二) 木刀による剣道基本技稽古法
(三) 定年による事務局職員の問題等

しかし戦後困難な時代を乗り越え昭和二十七年十二月から当愛知県剣道連盟が発足し、幾多の功績、実績を挙げ、本年一月には、発足五十周年記念事業も円滑に終え、

第十六回愛知県警察少年剣道大会

第十六回愛知県警察少年柔道、剣

(水) 愛知県体育館で、愛知県警察本部主催で行われました。

柔道は、二十六チーム、剣道は九十七チームの参加がありました。

この大会の趣旨は、青少年の非行防止・健全育成の一環として、各警察署の道場を解放して、警察官が指導者となり、柔道・剣道の練習を始めたものであります。その成果を試すため大会が計画されましたが、参加チームが少なく、警察関係者が指導している他の道場・教室等に参加を募り、昭和六十三年第一回大会が開催され、参加チームも年々多くなり、現在に至り本年で第十六回を迎えることになりました。

剣道大会の選手構成は、小学生四名、中学生三名の七名の登録選手、試合は小学生三名（先鋒は、四年生以下）中学生は二名（副将・大将）の団体戦であります。

各試合場熱戦が繰り広げられ勝ち進んできました。準決勝第一試合は、洗心道場（中）対修武館（春日井）の

祝 顕 彰

（平成十四年度）

剣道有功賞（敬称略）

池内 秀夫
榎原 正

牧野 登

鈴木 健一

秋田 森治

木本 三夫

山本 修 (39)
的場克也 (43)
太田洋一 (34)
近本 巧 (31)
居合道八段 (十四年五月四日枇杷島)

松岡良高 (61)
居合道六段 (十四年五月十一日枇杷島)

竹本克巳 (37)
中村仁彦 (39)
小治幸春 (48)
居合道五段 (十四年十月六日 中)

居合道五段 (十四年八月十一日宮城)

武田哲臣 (52)
居合道六段 (十四年八月十日 宮城)

阪野理成 (31)
矢口治男 (52)

居合道六段 (十四年十一月十六日東京)

井上敏雄 (51)

居合道七段 (十四年十二月十七日蒲郡)

榎本国康 (59)

酒井良昌 (27)

安田徹夫 (45)

博 (27)

三男 (51)

井上敏雄 (51)

岸 豊 (57)

佐野忠雄 (71)

武山 正 (65)

佐原邦夫 (60)

下村直樹 (37)

佐原邦夫 (60)

内田修身 (29)

成瀬和憲 (56)

武 (33)

宇都義人 (52)

鈴木正行 (33)

中村秀已 (57)

本多正治 (36)

田中雄三 (61)

柳田静代 (59)

杉本吉弘 (62)

居合道六段 (十四年七月十五日埼玉)

大野武雄 (69)

小野田哲 (54)

中村秀已 (57)

居合道六段 (十四年六月二十四日岡山)

柳田英明 (54)

居合道七段 (十四年六月二十四日岡山)

丸山和高 (36)

居合道六段 (十四年七月十五日埼玉)

大江英樹 (35)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

中村豊 (37)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

芳村喜道 (46)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

青山八示 (49)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

上成一彦 (50)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

中村秀已 (57)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

成瀬和憲 (56)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

田中雄三 (61)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

宇都義人 (52)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

中村秀已 (57)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

成瀬和憲 (56)

居合道六段 (十四年八月四日名総体)

田中雄三 (61)

平成15年度事業計画

財団法人 愛知県剣道連盟

1.2月		3月		10月		11月	
1月	▲剣道・県連・地区連その他の行事	場所	時間	場所	時間	場所	時間
1.木	全連・県連・地区連その他の行事	枇杷島	19:00	1.水	全連・県連・地区連その他の行事	枇杷島	19:00
2.火				2.木	△東三河剣道競技大会	枇杷島	18:00
3.水				3.金	※鶴見中部日本剣道大会	河尾体操館	9:00
4.木				4.土	※鶴見校名古屋剣道手帳大会	枇杷島	10:00
5.金				5.木	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
6.土	▲県連稽古会・忘年会 (例:14:00 募集 15:00)	中	6.火	3火	4水	4水	13:00
7.日	△15周年記念大会 ※西三河剣道競技大会	海老名館	7.木	5木	6木	7木	13:00
	※東三河剣道稽古会	新城市		7土	●東海地区剣道合同稽古会	枇杷島	
	※東三河稽古始め	豊橋市		8日	▲剣道ボランティア会	枇杷島	16:00
8月				9月	※東三河稽古始め	豊橋市	
9.火				10火	▲県連稽古会	豊橋市	
10木				11木	▲県連稽古会	豊橋市	
11火				12木	▲県連稽古会	豊橋市	
12金				13金	○JKA日本実業園女子剣道大会	東京都	
13土	※名古屋稽古始め	豊橋	14:00	14土	※12月開催剣道講習会(初回) 黒武道館	豊橋	9:00
14木	※西三河稽古始め	川谷	14:00	15日	※名古屋県剣道競技会(1回)	豊橋	9:00
15水				16日	※11月尾部小学生剣道大会(2段)	豊橋	10:00
16木				17木	※12月開催青少年剣道大会(2-3段)	豊橋	10:00
17水				18木	※12月開催青少年剣道大会(3-4段)	豊橋	10:00
18木	※名古屋稽古始め	豊橋	14:00	19木	※12月開催青少年剣道大会(4-5段)	豊橋	10:00
19木	※西三河稽古始め	岩倉市	10:00	20木	※12月開催青少年剣道大会(5-6段)	豊橋	10:00
20木				21木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
21木	※尾崎地区剣道稽古会	豊橋	13:00	22木	●長道合同稽古会	豊橋	13:00
22木				23木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
23木	※西三河稽古会	豊橋	13:00	24木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
24木				25木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
25木				26木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
26木				27木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
27木				28木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
28木				29木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
29木				30木	●長道地区稽古会	豊橋	13:00
30木							
31木							

備考 ●全剣連 ○金創連開催日　△県連開催日　※その他の各地区自主練習開催日

名古屋・毎月第2・第4曜日(19:00～) 尾崎・毎月第1金曜日(19:00～) 東三河…毎月1回

平成15年度事業計画

1月		3月		10月		11月	
1.金	全連・県連・地区連その他の行事	場所	時間	1.水	全連・県連・地区連その他の行事	場所	時間
1月	▲剣道合同稽古会	豊橋市	19:00	2.木	△東三河剣道競技大会	豊橋	16:00
2.火				3.木	●東海地区剣道合同稽古会	豊橋	
3.水				4.土	●東海地区剣道合同稽古会	豊橋	
4.木				5.日	※尾崎地区剣道稽古会	豊橋	
5.金				6.日	※尾崎地区剣道稽古会	豊橋	
6.土	▲県連稽古会・忘年会 (例:14:00 募集 15:00)	中	6.火	7.木	●東三河地区剣道合同稽古会	豊橋	
7.日	△15周年記念大会 ※西三河剣道競技大会	海老名館	7.木	8.木	●長道地区稽古会	豊橋	
	※東三河剣道稽古会	新城市		9.木	●長道地区稽古会	豊橋	
	※東三河稽古始め	豊橋		10木	●長道地区稽古会	豊橋	
8月				11木	●長道地区稽古会	豊橋	
9.火				12木	●長道地区稽古会	豊橋	
10木				13木	●長道地区稽古会	豊橋	
11火				14木	●長道地区稽古会	豊橋	
12金				15木	●長道地区稽古会	豊橋	
13土	※名古屋稽古始め	豊橋	14:00	16木	●長道地区稽古会	豊橋	
14木	※西三河稽古始め	豊橋	14:00	17木	●長道地区稽古会	豊橋	
15水				18木	●長道地区稽古会	豊橋	
16木				19木	●長道地区稽古会	豊橋	
17水				20木	●長道地区稽古会	豊橋	
18木				21木	●長道地区稽古会	豊橋	
19木				22木	●長道地区稽古会	豊橋	
20木				23木	●長道地区稽古会	豊橋	
21木				24木	●長道地区稽古会	豊橋	
22木				25木	●長道地区稽古会	豊橋	
23木				26木	●長道地区稽古会	豊橋	
24木				27木	●長道地区稽古会	豊橋	
25木				28木	●長道地区稽古会	豊橋	
26木				29木	●長道地区稽古会	豊橋	
27木				30木	●長道地区稽古会	豊橋	

財団法人 愛知県剣道連盟

剣道・居合道・杖道

平成15年8月20日(改定)
(財)愛知県剣道連盟

※消費税5%込み
※審査日前日までに満70歳の方は、登録料半額
※級別審査に際し、加盟金(終身)5,000円を納入して、愛知県剣道連盟に加盟しな
ければなりません。
*15年11月2日以降実施の審査における審査料、七段は、一、〇〇〇円・
八段は、二、〇〇〇円を値下げ。(15年7月24日全剣連より通達)

段・級	審査料	登録料
8 ~ 2 級	1,000円	1,900円
1 級	1,100円	2,500円
初 段	2,000円	5,200円
式 段	2,200円	6,100円
参 段	3,100円	8,900円
四 段	3,800円	11,000円
五 段	4,800円	17,000円
六 段	11,000円	37,200円
七 段	14,000円	60,100円
八 段	17,000円	87,200円
称 号		
鍊 士	20,400円	49,000円
教 士	30,000円	70,000円
範 士		105,000円

書籍販売価格表

剣道の訓	300円	*全剣連【50年史】	3,000円
「日本剣道形解説書」の手引き	300円	*剣道の歴史	3,500円
日本剣道形解説書(全剣連)	300円	*「剣窓スペシャル」	1,000円
幼少年剣道指導要領(改訂版)	1,600円	*木刀による剣道基本技稽古法	500円
剣道試合・審判規則・細則	350円	*ビデオ「木刀による剣道基本技稽古法」	3,500円
剣道試合・審判運営の手引き	150円	ビデオ「日本剣道形」	4,000円
称号・段位審査規則・細則	350円	ビデオ「剣道指導要領」第1,2,3巻	各4,000円
付称号・段位審査実施要領【剣道・居合道・杖道】		ビデオ「」第1,2,3巻セット	10,000円
剣道講習会資料	500円*	ビデオ「剣道試合・審判規則」	2,500円
剣道社会体育教本	2,100円	ビデオ「居合道」	4,000円
剣道医学Q&A	2,100円	ビデオ「杖道」	4,000円
竹刀及び剣道具規格	350円	愛剣連バッヂ	500円
剣道和英辞典	2,100円	全剣連剣道人バッヂ ネジ 大	1,600円
全日本剣道連盟「居合」解説書	350円	" " 小	1,000円
居合試合・審判規則・細則	350円	タック 大	1,600円
全日本剣道連盟「杖道」解説書	500円*	" " 小	1,100円
杖道試合・審判規則・細則	350円	{消費税込価格}	
*愛剣連【設立50周年記念誌】	3,000円		

*愛剣連50周年誌+全剣連50年史同時購入の場合¥5,000円にて販売

事務局だより

剣道段位受審者の心得

「全剣連整理番号と愛知県会員証番号」

愛知県会員証番号と

「愛知県会員証番号と

県内五地区連盟の記号は、次のとおりです。

東三河G・H 尾張I・J

尾張A・B

名古屋C・D 警察K

西三河E・F

愛劍連会員となられた方はその会員証番号で剣道、居合道、杖道いずれも受審できます。

従つて、剣道、居合道、杖道で愛

剣連会員となられた方はその会員証番号で剣道、居合道、杖道いずれも受審できます。

注意事項

- 1、愛剣連番号は、審査規定第十八条六項により一級受審者は、個人会員(終身会員)にならなければ受審できないと記述されている。所定の手続により個人会員(終身会員)となる。
- 2、愛剣連番号は、必ず全剣連整理番号と愛剣連番号を所定の申込書に記入しないと受審できない。その件について左記に説明致します。
- 3、全剣連整理番号は、必ず全剣連整理番号と愛剣連番号を所定の申込書に記入しないと受審できない。その件について左記に説明致します。
- 4、会員証の紛失、盗難には、注意して下さい。
- 5、段位合格証書の紛失の再発行は、相当額の手数料が必要となりますので要注意です。



全剣連番号 1279490
証書管理番号 2001-23-00024-01-0057-0331

平成 年 月 日	
剣道 居合道 杖道	
審査会申込書	
次のとおりにつき審査料 円を添えて申込みます。(終身会員 新規・納入済)	
フリガナ	フリガナを必ずすること
氏名	相手で正確に
生年月日	大・昭・平 年 月 日 才
住所	住所は手紙の届くように、電話は市外局番も必ず書くこと 〒□□□□□□□□ 市 郡
所属地区(○で囲む)	西三河・東三河・尾南 地区剣道連盟 支部
職業(○で囲む)	小中高大・自転公会・農・漁・生産者・学生・学校教員・官公職員・会員・会社員
学校名会社名	道場名
学年	小・中・高・大 年
要 知 県 会 員 証 号	記号(○で囲む) 番号 全剣連 整理番号 加盟団体名
受審する級・段・称号	級段士 受審会場
現在の級・段・称号	級段士 昭・平 年 月 日 取得
現在の級・段・称号を取得した時に所属していた都道府県名	都・道・府・県 合格した会場
備考	

注意事項

- 該当項目を○で囲み□の中は、受審する級・段・称号のいづれかを明記のこと
- 審査申込時及び審査会には会員証必携のこと
- 申込書は楷書で正確に記入すること。(高と低、恵と恵など正確に)
- 他都道府県で前段級取得者は、申込時に証書の差しを添付のこと。(初回のみ)

『五十周年記念誌』の訂正

『(財) 愛知県剣道連盟五十周年記念誌』の編集につきましては、大変に多くの方々にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

編集には、誤りの無いように注意を払いましたが、発刊後に会員の皆様より、誤りについてご指摘をいたしました。

ここに「正誤表」を掲載させていただきまして、ご訂正のほど、よろしくお願いいたします。

ただきますので、お手許の記念誌につきまして、ご訂正のほど、よろしくお願いいたします。

なお、剣道教士七段からお名前が抜け落ちておりました渡辺一男氏、お名前が間違つておりました内藤信臣氏には、大変にご迷惑をおかけいたしました。深くお詫び申し上げます。

(記念誌編集委員会)

（正誤表）

▼四三頁 上段 七行目
（誤）明示 ↓ (正) 明治

▼四三頁 上段 一七行目
（誤）安政 ↓ 明治

▼六三頁 下段 三行目

▼二二四頁 表の四番目の欄
（誤）六郷恵美 ↓ (正) 市警

▼二一四頁 表の六番目の欄
（誤）早川真由 ↓ (正) 早川真由美

▼二一五頁 表の最終欄の西暦年
（誤）2000 ↓ (正) 山田恵津子

▼二九四頁 二段目
（誤）山田恵津 ↓ (正) 山田恵津子

▼二九五頁 一段目 三行目
（誤）内藤信雄 ↓ (正) 内藤信臣
「渡辺一男」を挿入 以上

▼二九六頁 二段目 一七行目
（誤）鈴村萬龜夫 ↓ (正) 鈴村萬龜夫

（誤）2001 ↓ (正) 2001

平成十五年二月二十二日逝去
享年 七十七歳
剣道範士八段
県剣連 相談役

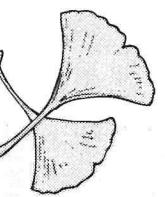


水野 登先生

平成十五年二月二十二日逝去
享年 九十三歳
剣道範士七段
県剣連 相談役

（中村薰先生）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



訃報

中村 薫先生



編集後記

平成十五・十六年度の役員改選等諸般の事情により、『観の眼』の発刊が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。編集委員も変わり、新しい陣容でスタートすることになりました。これまで、長く委員長をお務めになりました田中弘先生には、本当にご苦労様でした。先達の編集委員の皆様がなしとげられました成果を継続し、また新たな視点からの企画を盛り込み、『観の眼』をますます充実したものにしていくよう、新編集委員、力を合わせて頑張りたいと存じます。会員皆様のご協力を、よろしくお願い申し上げます。

編集委員長 委員

伊藤一彦 榎本鐘司
白井孝一 白石裕章
若松幸雅

中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

◇本社 (名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1)
FAX 052(201)4331
問い合わせは 電話052(221)0793
◇豊橋支局 (豊橋市八町通3ノ91)
FAX 0532(54)4655
◇岡崎支局 (岡崎市東明大寺町16ノ18)
FAX 0564(25)1554
◇豊田支局 (豊田市美山町3ノ34/34)
FAX 0565(25)1118
◇一宮支局 (一宮市大江1ノ13ノ13)
FAX 0586(72)5035
◇半田支局 (半田市出口町1ノ45ノ18)
FAX 0569(23)2372
◇春日井支局 (春日井市鳥居松町3ノ60)
FAX 0568(81)2797

読売新聞社

FAX 052(211)1085

取材に来てくれることもありますので、先ず一報を

広報「観の眼」第二十七号

平成十五年十月一日

財団法人 愛知県剣道連盟

〒461-0044
名古屋市中村区鳥居通り二ノ四一
ウチフジビル二階

電話(052)481-10093
FAX(052)481-10095

題字・故竹田弘太郎名誉会長